

つながりに生きる

生徒指導主事 田村 耕一郎

一生懸命な姿は美しい ～「できるか、できないか」ではなく「やるか、やらないか」～

先週は、個別懇談に合わせて運動会練習が行われた。38℃の酷暑の中、男子生徒は伝統の「宇和中体操」を極めるべく、とてもよい雰囲気の中での練習だった。印象深いのは、校長先生の直々の御指導だ。校長先生は宇和中生時代、800人を超える生徒の代表として壇上に上がられている。私は宇和中学校の卒業生でもないし、6年の勤務経験しかないのだが、当時の代表生徒と現在の代表生徒と一緒に体操をしている姿は、率直に感動する。伝統が脈々と受け継がれているのを目の当たりにしていると思うと、背筋がゾツとするのだ。

それに加え、男子生徒の「一生懸命さ」が感動の後押しをする。特に、3年生の真剣な眼差しは、妥協がないことを感じさせる。確か、2年前は今の1年生のような感じだった。

なんだかよくわからないまま、先生や先輩たちの指導に「ついていく」状態だった。それが2年もすると、言葉ではなく「姿勢で語る」立派な青年に成長している。改めて、中学校の3年間というのは大事な3年間なのだと認識するとともに、私たちも適切なことはできないと、身の引き締まる思いがする。

一生懸命な姿は人の心を動かせる。うまくできないとしても、大きな壁を乗り越えるために必死に頑張る姿は、言葉で語るよりも絶大な力を持っている。そういう宇和中生がたくさんいるということは、卒業生でない私がこれだけうれしく感じるのだから、きっと本校を卒業した保護者の皆様には格別の思いがよぎるであろうことは、簡単に察することができる。



私のお気に入りの1枚。

校長先生の後を継ぐ笹井君の頑張りに期待！



何かに挑戦すること、一生懸命になることは、人の生活を豊かにしてくれると思う。私事で恐縮だが、私も2年前に大きな挑戦に出た。バレーボールのA級審判員の資格取得だ。国内では最高資格で、プロを除くすべての大会の決勝戦を裁ける権利を持つ資格だ。ひょんなことから推薦をいただき、年齢制限ギリギリで挑戦することになった。大阪での11泊12日の研修、実技試験、筆記試験、面接…、20代や30代前半の若い方々と一緒に切磋琢磨しながら乗り越えた。正直、この歳になってこんなに叱られるのかと参った場面もあったが、同じ目標を持つ集団で一生懸命に取り組むことで乗り越えられた。2019年3月1日、日本バレーボール協会から無事にA級認定をいただき、自分のキャリアアップを果たすことができた。

好きなこと、得意なことには個人差がある。皆さんには「一生懸命になれる何か」があるだろうか。自分の生き方を振り返り、自分の好きなこと、興味のあることに一生懸命になってほしい。そうすれば、今起きている苦しいことも、学校に来て勉強することも、少し楽に感じられるかもしれない。

一生懸命な姿は美しい。一生懸命な姿は心を動かす。一生懸命な人はキラキラ輝いて見える。



多めの水分を持たせてください ～熱中症予防～

連日、酷暑が続いています。学校生活の様々な場面で、給水するように呼び掛けています。学校には数台のウォータークーラーしかありません。荷物が増えてしまうのですが、多めの水分を持たせてください。

マスク着用のことなどで、御意見をいくつかいただいておりますが、学校では細心の注意を払っております。御理解と御協力をお願いいたします。